

令和7年6月17日

社会福祉法人 健祥会
理事長 中村 太一 殿

専門学校 健祥会学園
学校関係者評価委員会
委員長 加藤 真介

学校関係者評価委員会報告

令和6年度学校関係者評価について、次のとおり評価結果を報告いたします。

1. 学校関係者評価委員

加藤 真介（徳島赤十字ひのみね医療療育センター 園長
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属支援施設 園長）
田村 修司（徳島県介護福祉士会 会長）
若松 義明（専門学校健祥会学園 後援会 会長）
渋谷 律香（専門学校健祥会学園 同窓会）
樽見 義（前 社会福祉法人鴨島ひかり会 理事）

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和7年6月11日(水) 13:30~14:30
専門学校 健祥会学園 本館4階 補装具室

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

1. 各評価項目について

(1) 教育理念・目標

特に指摘する事項はない。

(2) 学校運営

特に指摘する事項はない。

(3) 教育活動

総合型選抜での入学者が多く入学者の学力不足が否めないが、特に指摘する事項はない。

(4) 学生指導等

昨年度より専門家（公認心理師・臨床心理士）によるカウンセリングを設けサポートしている。

(5) 学修成果

国家試験の受験率及び合格率が高く、教育の成果と言える。

(6) 学生支援

特に指摘する事項はない。

(7) 教育環境

評価項目に「…海外研修等…」の項目があるがコロナや教育課程の時間数の関係で実施することができないようであれば、評価項目を見直してはどうか。

その他は特に指摘する事項はない。

(8) 学生の受入れ募集

高校生の減少とあらゆる職場での求人があるため離職者訓練事業も出願者が少なく、4学科において募集定員を下回った。このような社会状況があるため本学園だけの課題ではないが、県外の募集も含め募集強化が望まれる。

(9) 財務

入学者の定員割れにより財政上の逼迫を招き、適切な学校経営や教育活動の推進に支障をもたらすことが考えられる。今後の広報戦略により、入学者が増加すること

を期待する。

(10) 法令等の遵守

常に遵守されており、特に指摘する事項はない。

(11) 社会貢献・地域貢献

特に指摘する事項はない。

重点目標について

(1) 入学生の確保

広報委員会を開催し、高校訪問、SNSの活用、オープンキャンパス、地域活動への参加等の学生募集体制の強化を図った。学生募集については、入学生を確保するために新たな取組を行い、学生募集体制を強化、継続する必要がある。

(2) 国家試験の合格と教員のレベルアップ

模擬試験、補習授業、グループ学習対策講座等を行っており、国家試験の受験率及び合格率を見ると教育効果が認められる。教員のレベルアップについても各職能団体主催の学会や養成校協会による研修会にも参加しレベルアップを図っている。

(3) 日本語学科の設置

令和8年開設予定で各省庁への申請や受け入れ環境の整備等が進められている。